

にじの便り

平成29年8月発行
〈第6号〉

(年4回)
6月・8月・10月・1月発行)

介護老人保健施設 にじの丘足柄 〒250-0113 南足柄市岩原699 TEL 0465-70-2222
メールアドレス rainbows@kiyoukai.jp



介護老人保健施設にじの丘足柄 施設長 堀口 徹



今年も多くのご家族様、ボランティアの方々により盛大な納涼祭を開催することが出来ました。陽の明かりが残る18時に始まり4階建ての施設を利用した盛大なナイアガラ花火を鑑賞するまでの約2時間、笑顔、笑顔、笑顔に包まれた楽しいひと時を過ごす事ができました。普段、夕食後は室内で過ごしているご利用者様は、夏の日を屋外で過ごす、ビールを飲む、屋台で買物をするなど、「非日常」を楽しまれておりました。施設へ赴任して3回目の納涼祭、毎回この「非日常」はご利用者様の体調に注意してまいりましたが、多くのご利用者様は納涼祭後に元気を取り戻しているようで、「非日常」は元気の基であるようです。そして何よりもご利用者様の元気は、職員の活力になるようです。今後も引き続き、にじの丘足柄・四季の丘のご利用を宜しくお願い申し上げます。

平成29年 納涼祭実行委員長 岩田健吾



今年の梅雨明けは例年通りでしたが、台風の影響で天候が不安定で時折晴れ間がある中で、順調に準備を行えました。前日の夕方から強い雨が降り心配していましたが、当日の朝には止み納涼祭を開催することが出来ました。多くのご利用者様、ご家族様、近隣の皆様にご来場頂き、露店・バザーは昨年より盛り上がっていました。又、納涼祭の為に練習していた盆踊りをご利用者様・職員が一緒に踊り、来場された皆様が口ずさんだり手拍子して下さり会場が一体となり楽しんでいただけたご様子でした。昨年の経験から、準備・本番とスムーズに行うことが出来、天候が崩れず過ごしやすい中、開催されご利用者様から沢山の笑顔を見る事が出来ました。ご家族様、ボランティアの方々、地域の方々、お手伝い下さった皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

納涼祭新人出し物では、にじの丘・四季の丘の職員3名で「フラダンス」を踊りました。年齢・性別が違うので、話がまとまらず出し物が決まるまで時間が掛かりました。選曲も何にするか迷いましたが、御利用者様が知っている曲が良いと思い「瀬戸の花嫁」に決めました。3人ともフラダンスは未経験で踊れるか心配でしたが、熱心にご指導いただき、私達もその期待に応える為、必死に練習してきました。衣装も本格的な物を準備して頂きました。「馬子にも衣装」と言いますが、少しは立派に見えましたでしょうか。そして、しっかり踊れていたでしょうか？是非私達を見かけたら感想をお聞かせ下さい。まだまだ未熟者の私達ですが、皆様のお力をお借りしながら成長していきたいと思っております。

介護 金谷

今年の2月に入職し、初めての納涼祭でした。新人3人で初フラダンスを踊りましたが、楽しんで頂けたでしょうか？花飾りに素敵な衣装、私達も楽しみながら踊りました。



相談室 金子



沼田自治会の皆様



広町あしがら囃子の皆様

納涼祭の開催にかかわり、多くの方々にご協賛を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

古屋 一夫
古屋 文子
コカ・コーラセントラルジャパン(株)
広町あしがら囃子
真田 英孝
(株)足柄グリーンサービス
日本テクノ 寺生 修
小田原報徳自動車(株)

高橋組 高橋元治
(株)茶利
イシックスサービス 石井 浩
つかはらちびっこ保育園
イフスコヘルスケア(株)
沼田自治会
岩原小学校

敬称は省略させていただきました。上記以外にも多くの方々に、ご協力、ご支援を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

入所

6月21日・28日の2日間で、開成町「あじさいの里」にドライブへ行ってきました。

残念ながら、両日雨天のため、車中からの紫陽花観賞となりました。それでも皆様、色とりどりの紫陽花を楽しまれ、趣味の写真を撮られる方や俳句を詠まれた方もいらっしゃいました。

ドライブの後は、施設に戻ってお茶会。季節の和菓子を召し上がりながら「雨だったけど、出掛ける事が出来てよかったよ。」と喜びの声が聞こえました。

相談室 石黒



向山 様



撮影:原田 様

デイケア



日々、色々なレクリエーションを行っていますが、その中でもスカットボールは、とても盛り上がるゲームです。スティックでボールを打ち、穴に入った数で競います。



NHKのど自慢予選に出場しました！
デイケア職員5人が頑張りました！
曲は、都はるみの「好きになった人」。
歌と自分たちで振り付けしたダンスで臨みましたが、残念ながら予選落ちしてしまいました。
皆さん応援ありがとうございました。

介護 荻野

在宅復帰支援型について②

前は、国の考える在宅支援について述べさせて頂きました。今回は、在宅復帰支援型老健について簡単に述べさせて頂きます。

本来、老健施設というのは医療と介護の中間に位置し、以下4つの役割があります。

- ①入所サービス:病院でのリハビリを継続しなるべく早期に自宅に復帰して頂く事だけにとどまらず、老人福祉施設(老人ホーム)待機場所、看取りとしてのご利用
- ②通所サービス:リハビリを利用し、現状能力の維持・向上を図りながら、在宅生活を継続する為のご利用
- ③短期入所サービス:ショートステイとも言い、短期間(概ね数日から1週間程度)のみ入所しリハビリや入浴の提供・家族の介護負担を軽減する為のご利用
- ④訪問サービス:専門のリハビリスタッフがご利用者様のご自宅に伺い、リハビリ・介護方法の助言等を行い、在宅生活を継続する為のサービス。

まさにこれら老健施設本来の役割が、国が進めている「在宅支援」です。ご利用者様の病気や家庭環境等による多彩な利用目的に対応する事は今までの通常型老健と大きな差はありません。

「在宅復帰支援型老健」は、入所サービスにおいて、在宅復帰目的のご利用者の割合を通常型老健と比べ多くし、在宅生活を支援していく施設となります。



編集後記

夏本番！！「暑い、暑い」が合言葉のようになっている今日この頃。今年納涼祭も盛大に開催することができ、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます、ありがとうございました。

小清水

*おことわり 今回掲載させていただきました 御利用者様の写真については、ご了解を得ております。